

## 平成17年度における剰余金の概要

### 1. 損益計算書等における利益（剰余金）

#### 損益計算書の概要（単位：百万円）

経常費用	18,940
経常収益	19,480
経常利益（＝経常収益－経常費用）	540
臨時損失	1,583
臨時利益	1,602
当期純利益（当期総利益）	559

#### 決算報告書による剰余金（単位：百万円）

（収支差＝収入－支出）	1,370
	629（翌期以降の財源である寄付金等の負債）
	<u>201</u> （長期寄付金債務）
	540（＝経常利益）

### 2. 平成17年度決算における剰余金の主な要因

#### （経費の節減）

- （1）教員人件費等の節減によるもの・・・・・・・・・・・・・・・・約311百万円  
教員配置計画を下回る教員配置（21名） 約250百万円  
教職員の休職後の代替抑制等 約61百万円

- （2）契約方法の変更等に伴う経費削減によるもの・・・・・・・・約18百万円  
複数年契約及び学舎管理方式の見直し等による経費の削減

- （3）外部研究資金の増加により経費の節減を図ったもの・・・・・・・・約98百万円  
計画を大幅に上回る外部資金（2,020百万円）を用いた既存研究経費等の節減。

#### （収入の増）

外部研究資金の間接経費収入の増加によるもの・・・・・・・・約63百万円  
受託・共同研究の増加に伴う外部資金の間接経費収入から必要経費を控除した残額。

- （移行時限りの臨時利益）・・・・・・・・・・・・・・・・約19百万円

法人化に伴い大阪府から無償譲与された物品の受贈益。

### 3 . 利益処分案について

当期純利益（当期総利益） 5 5 9 百万円  
1 9 百万円（法人化に伴い大阪府から無償譲与された物品の受贈益）  
5 4 0 百万円（＝知事の承認を受け目的積立金とするもの）

学生在籍者の充足率についても、各学部、各研究科ともに 90%を上回っている。